

# 家庭での学習 災害への心構え

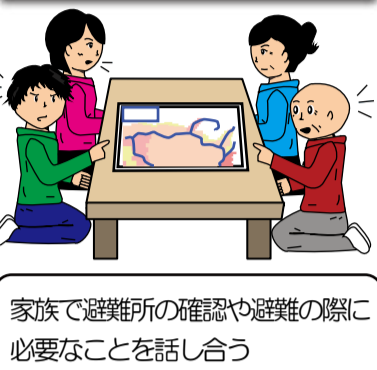
## 避難所等の種類

避難所等について、3つの凡例が地図に表記されています。どのような機能があるかおきましょう。

凡例	種別	対象となる施設・場所	役割
	指定避難所 (指定緊急避難場所)	小中学校・高等学校など	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設
	福祉避難所	指定された福祉施設など	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整った施設
①	要配慮者 利用施設	福祉施設・小中学校・認定こども園など	災害発生時、支援者が必要とする人(要配慮者*)が生活している施設

\* 要配慮者とは、高齢者、子供、乳幼児、妊婦、病人、外国人、身体障がい者のこと

## 家族で話し合い



## 非常時の持ち出し品、備蓄品を備える

災害を乗り越えるには、普段から衣類や非常食等を備えておくことが重要となります。



① 避難の際、最低3日以上の水と食料を備蓄する  
**1人1日分の食料 × 3日以上 × 家族人数**

## ローリングストック法

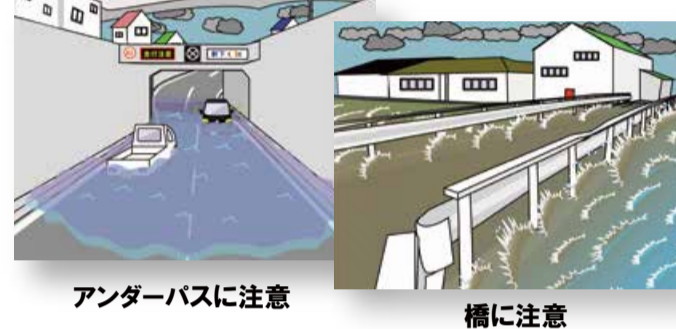


普段から食料を少し多めに購入し、消費期限が近いものから消費し、また費い定して備蓄する方法

## 洪水ハザードマップを使ってみましょう



## 離れた危険



## 防災訓練に参加しましょう



災害が発生した時に、速やかに避難行動ができるよう防災訓練に参加しましょう。

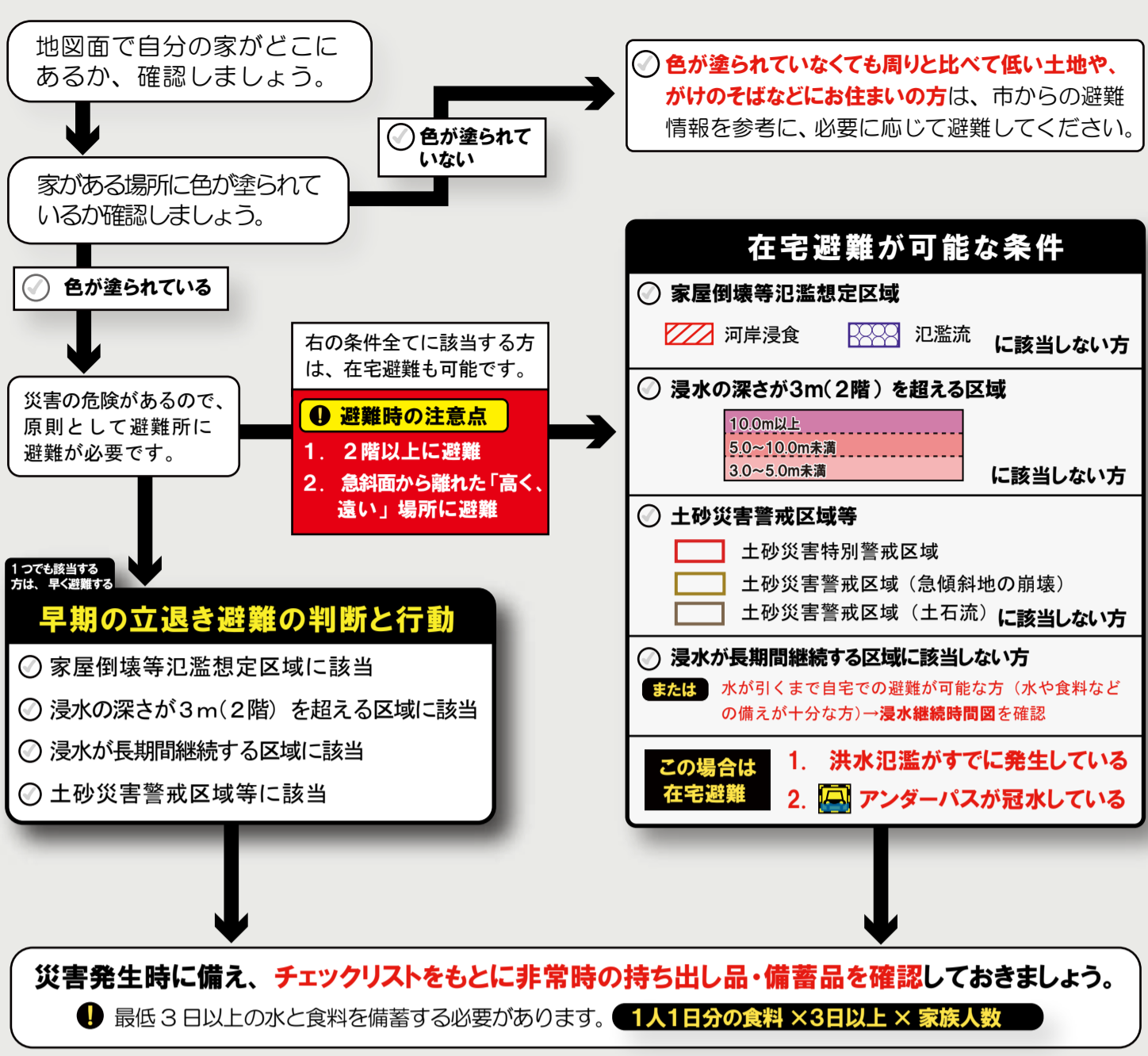
## 過去の被害を忘れない



昭和56年7月に宮谷川が氾濫し、旧金津町が甚大な被害を受けました。

# 警戒レベル2 避難行動の確認

避難行動を検討した上で災害発生前に活用しましょう。検討したら☑をしましょう。



## 非常時の持ち出し品チェックリスト

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー	<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 眼鏡等	<input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> ハザードマップ	<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 衣類	<input type="checkbox"/> トイレットペーパー	<input type="checkbox"/> ポリ袋	<input type="checkbox"/> 育児用品	<input type="checkbox"/> うがい薬	<input type="checkbox"/>

① 持ち出し品はこれだけではありません。自分に必要なものをあらかじめ決めておきましょう。

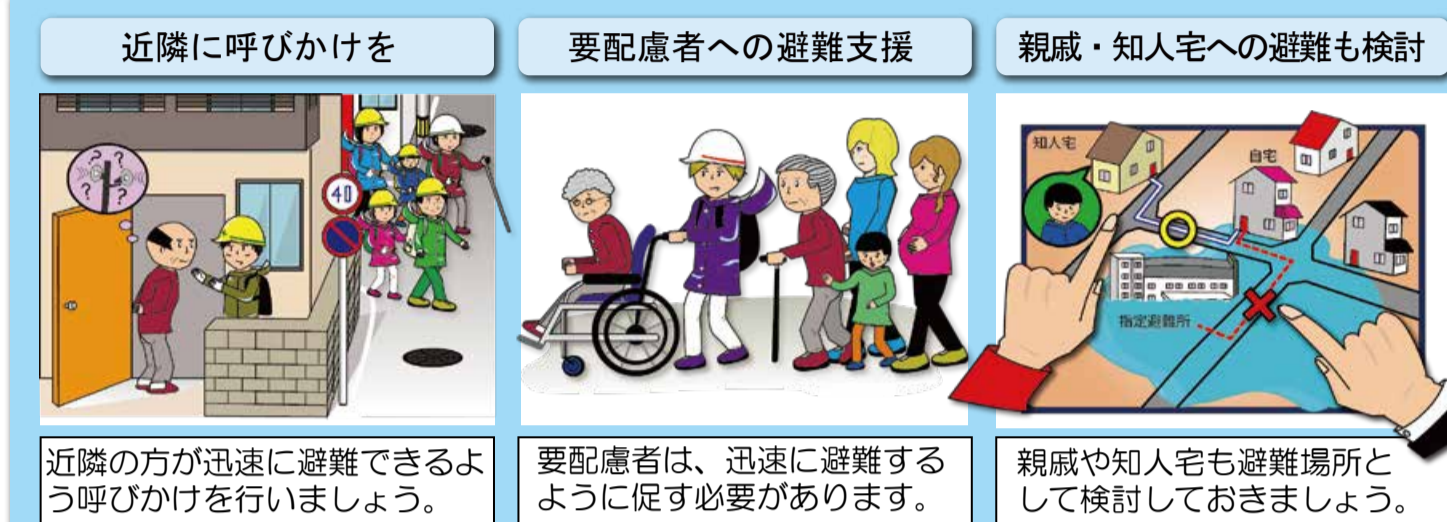
# 警戒レベル3～4 避難時の心得

## 避難時に注意すべきこと

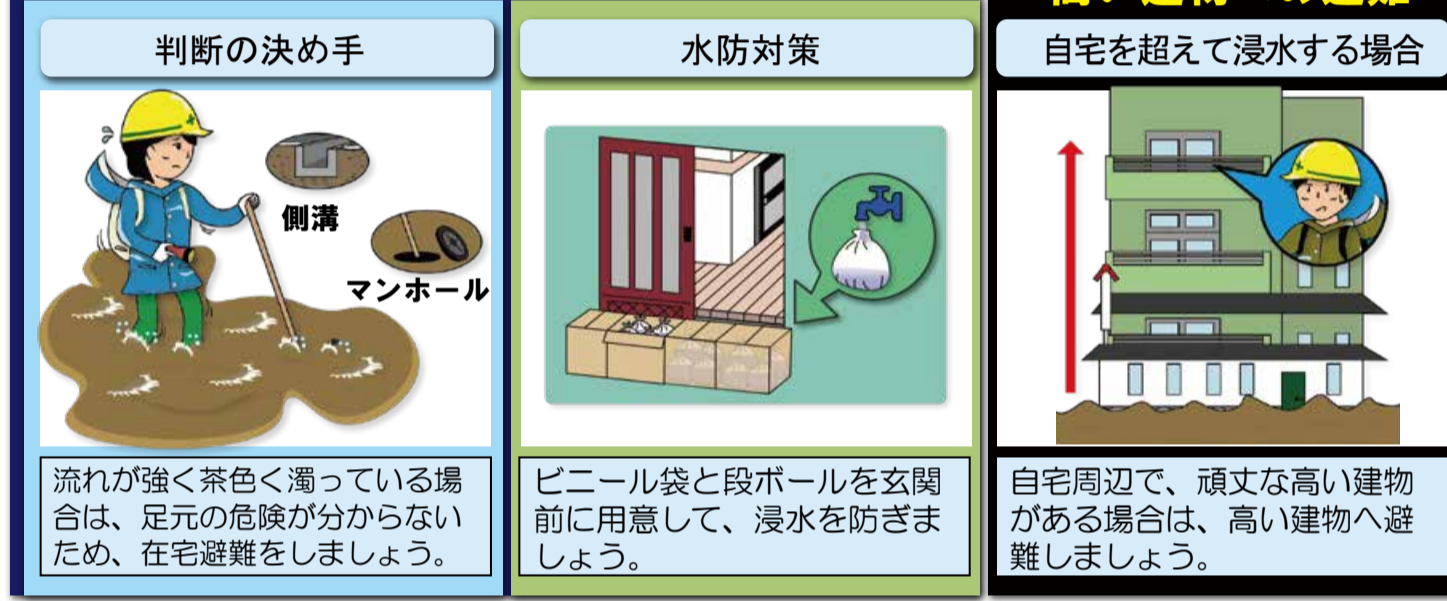


## 避難施設の注意点: 避難所に複数の人が集まるため、感染症対策を万全にしましょう。

## 共助の心を大切にしましょう

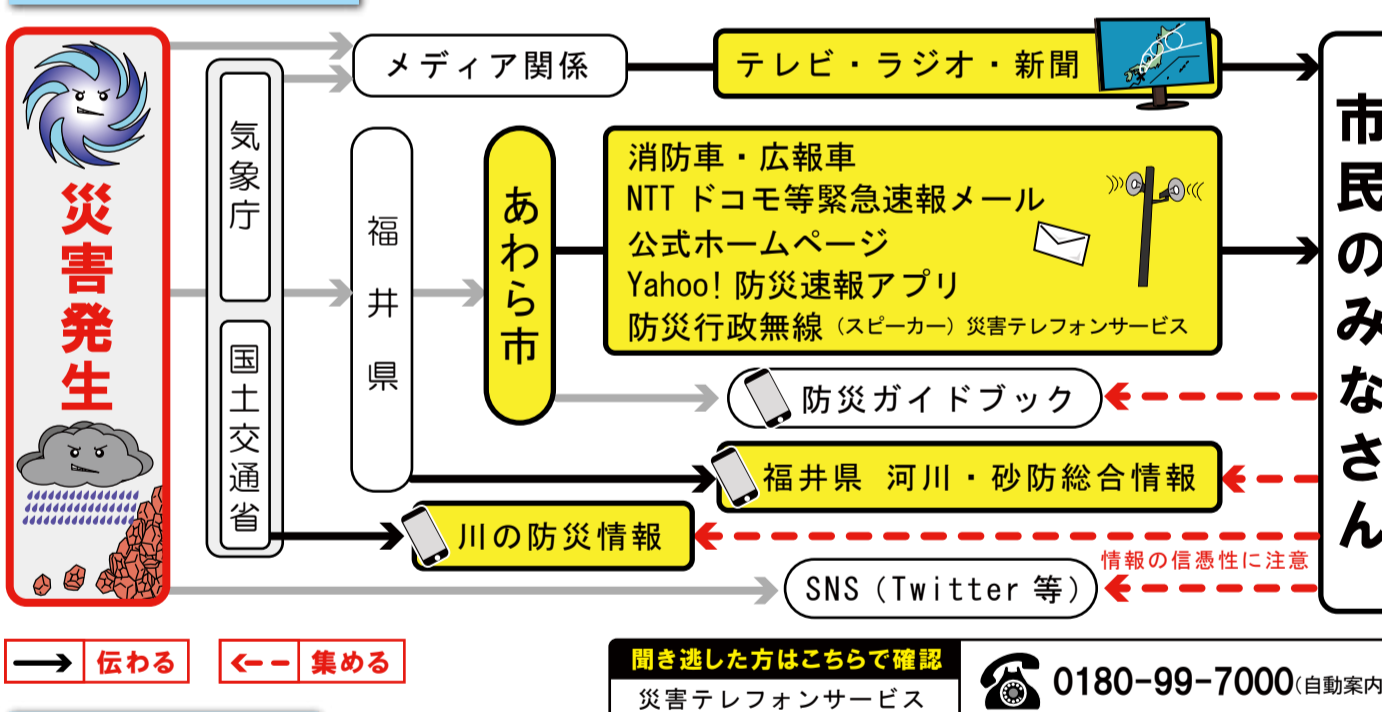


## 在宅避難の判断と対策



# 警戒レベル1 情報の伝わり方、集め方、安否の伝え方

## 情報の伝わり方



## 情報の集め方

### 福井県 河川・砂防総合情報

【確認できる情報】

- 観測情報(水位観測等)
- 土砂災害警戒情報
- 洪水予報情報
- 気象情報

URL: <http://ame.pref.fukui.jp/>

### 防災ガイドブック

【確認できる情報】

- 地震・土砂災害編
- 津波編
- 洪水編
- 総合対策編

URL: [www.city.awara.lg.jp/](http://www.city.awara.lg.jp/)

### i-ameメール(福井県河川・砂防総合情報メール)

携帯に登録することで、以下の危険情報をメールでお知らせします。

- 洪水予報
- 雨量警戒等
- 土砂災害警戒情報
- 気象警戒等
- 水位(氾濫危険水位等)

登録方法や使い方の詳細は「i-ameメール」で検索!

## 災害用伝言ダイヤル【171】

災害発生時、電話での連絡が取りにくくなるため、代わりに「安否確認を伝える」ことができるサービスです。災害発生時のみ利用できるサービスですが、毎月1日や15日など、体験利用できる日があります。



# 早期の立退き避難が必要な区域

## 家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水発生時に家屋が流失・倒壊することが想定される区域には、「氾濫流」と「河岸浸食」の2種類があります。

- 氾濫流: 堤防の決壊による木造家屋の崩壊が発生するおそれのある区域
- 河岸浸食: 激流により河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれのある区域

## 浸水で特に警戒が必要な区域

浸水の深さが3mを超える区域、浸水継続時間が長期に及び区域

- 浸水深が3mを超える区域: 浸水深が3m(建物の2階)を超えるおそれがある区域
- 浸水継続時間が長期に及び区域: 水が引くまで、長期期間から加立する可能性がある区域

## 土砂災害警戒区域等

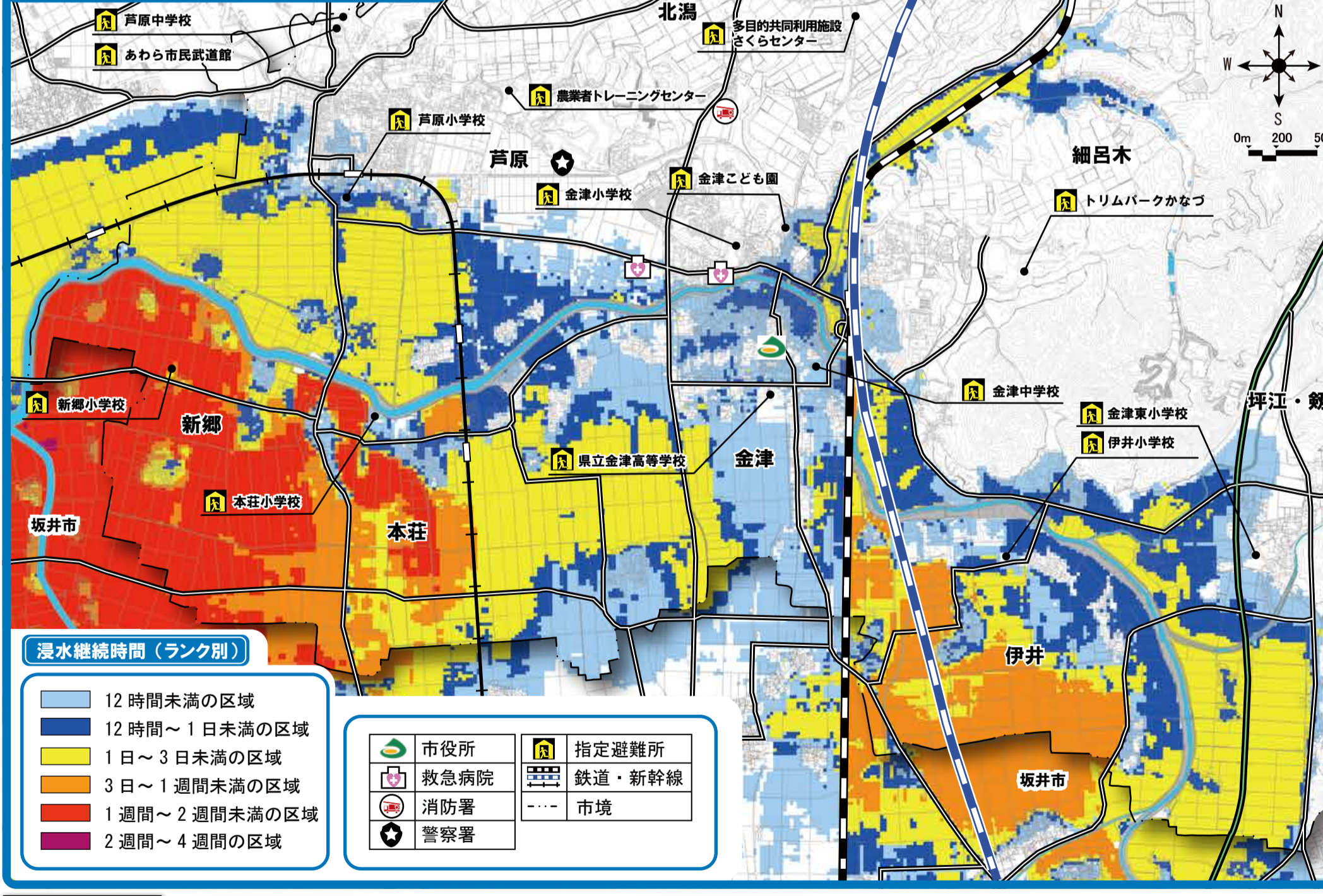
**土砂災害特別警戒区域**  
土砂災害による建物の崩壊などにより、生命または、身体に著しい危害が生じるおそれがある認められる場合に注意が必要な区域

**土砂災害警戒区域**  
大雨などで、急な斜面や谷間を流れる河川、または緩やかな台地で土砂災害が発生する区域

## 急傾斜地の崩壊 土石流 地すべり

- 急傾斜地の崩壊:** 前兆現象: ① 土が崩れ始める、② 小石がワラワラ落ちる
- 土石流:** 前兆現象: ① 川が濁り水が混ざる、② 山鳴りする
- 地すべり:** 前兆現象: ① 地面にひび割れができる、② 斜面から湧水が出る

# 浸水継続時間図



## 選げ遅れに伴い長期の在宅避難を行う際の課題

安全なうちに「早めの避難」

早期の立退き避難が必要

自宅裏の危険な斜面に注意しましょう。大雨が降り続く場合は、自宅裏の斜面を確認し、早めの避難を心がけましょう。

長期氾濫する区域には注意をしましょう。避難が遅れた場合、右図のような状況が発生するおそれがあるため、早めの避難を心がけましょう。

電気がつかない、衛生環境が悪化、食料が尽きる、救急車が来ない、常備薬が尽きる

# あわら市洪水ハザードマップ 竹田川版



## 洪水ハザードマップについて

洪水ハザードマップは、大雨によって河川が氾濫し、堤防を越えまたは、決壊させた場合に想定される浸水被害を、以下の2つの条件で地図に示しています。

想定最大規模版(約1000年に1度の大雨)の時に、想定される浸水深を示しています。

計画規模版(約30～150年に1度の大雨)の時に、想定される浸水深を示しています。

## 学習と避難の際の行動

災害への危険度が高まったとき、警戒レベルごとに警報・注意報が発表されます。これらの情報に注意して、レベルごとに適した行動をとりましょう。

情報面では、市が推奨する行動・学習を警戒レベルごとに分けて記載しています。普段から確認し、学習しましょう。

災害時に自分がすべき行動(マイ・タイムライン)を記入し、活用しましょう。

## 洪水ハザードマップに関するお問い合わせ先

あわら市 土木部 建設課  
〒919-0692 住所: あわら市市姫三丁目1番1号  
TEL: 0776-73-1221(代表) TEL: 0776-73-8032(直通)  
公式ホームページ URL: <http://www.city.awara.lg.jp/>

## マイ・タイムラインを作成しよう

マイ・タイムラインとは、災害が発生した場合「警戒レベル」とそれに伴い「何をやるか」を事前に整理し、急な判断を迫られる災害発生時に、迅速に行動するための防災計画です。

警戒レベル	災害状況	気象庁からの避難情報	市の対応	とるべき行動	我が家のすべき行動
1	気象状況が変化	① 早期注意情報	学習画面を確認	災害への心構え	避難所までの避難経路を確認 避難所の設備準備を確認 持ち帯等、災害情報の確認 自宅が早期の立退き避難が必要な区域に該当するかの確認
2	気象状況が変化	① 洪水注意報 ① 大雨注意報	学習画面を確認	避難行動の確認	避難行動の確認をする 避難の経路を確認 避難に要する時間: 異変を感じたら速やかに避難
3	災害のおそれあり	① 洪水警報 ① 氾濫警戒情報	学習画面を確認	避難時の心得	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者、障がいのある方、妊娠中の方とその支援者は、避難を促すようにしましょう。 避難準備を開始
4	災害のおそれ高い	① 土砂災害警戒情報	学習画面を確認	避難時の心得	危険な場所から全員避難 家族全員が速やかに避難所へ避難しましょう。 避難完了
5	災害発生がほぼ確実	① 大雨特別警報 ① 氾濫発生情報	学習画面を確認	命の危険	命を守る最善の行動 自宅にいる場合 高い建物に避難 逃げ遅れた場合の対策

## 長期の在宅避難を行う際の課題

自宅の周囲が浸水し長期の在宅避難が必要となった場合、以下の課題が発生します。

- ① 浸水が長期にわたる場合
  - 準備した水や食料が尽きます。
  - 衛生環境が悪化します。
- ② ライフラインの停止による問題
  - 停電により情報収集ができません。
  - 孤立した場合
- ③ 最低限必要な備蓄品
  - 7日分以上の水や食料
  - 1人1日分の食料 × 7日以上 × 家族人数
  - 簡易トイレ(ビニール袋)
  - モバイルバッテリー
  - ポンベ型ガスコンロ
  - LEDライト(ランタン)
  - 医薬品(処方箋等)